

競 技 会 報 告 書

競 技 会 名				第77回日本高等学校選手権水泳競技大会 平成21年度全国高等学校総合			
期 間				平成21年8月17日(月)～20日(木)			
会 場 名				大阪府立門真スポーツセンター(なみはやドーム)			
主 管 団 体				(財)全国高等学校体育連盟水泳専門部 大阪高等学校体育連盟 (財)大阪			
競 技 種 別				競泳			
実働役員				参加チーム数		569	
本部派遣役員				参加人数		男子 女子	
				大会参加者数		1399 971	
会長	佐野 和夫	安部 喜方(役員長)	8月17日	745	246		
副会長	青木 剛	藤森 克悦(競技進行)	8月18日	461	373		
専務理事	泉 正文	谷口 孝司(審判長)	8月19日	659	563		
常務理事	山重 美登志	井田 克行(副審判長)	8月20日	605	482		
常務理事	安部 喜方	加々美 好明(機械審判)	月 日				
常務理事	上野 広治	園山 直文(出発合図主任)	合 計	2470	1664		
常務理事	設楽 義信	早川 敏男(泳法審判主任)	種目	男子	女子		
		高橋 聖一(折返し監察主任)	自由形	50	99	94	
		小野 一美(通告主任)		100	110	76	
		後藤 直之(報道担当主任)		200	109	83	
				400	73	93	
大会役員	1日	日数	計	800	70		
	60名	4日	240名	1500	77		
競技役員	1日	日数	計				
	135名	4日	540名	50			
補助役員	1日	日数	計	100	92	73	
	80名	4日	320名	200	89	69	
その他(生徒)	1日	日数	計	50			
	230名	4日	920名	100	118	90	
役員合計	505	4	2,020名	200	108	89	
支援役員状況							
日水連及び大阪水泳協会競技役員で運営				バタフライ	50		
近畿高体連より5名の支援役員				100	84	53	
				200	95	72	
				100			
				200	92	64	
				400	92	70	
実行委員会の動向及び準備状況等				F・リレー	200		
				400	18/472	80/320	
2007年度より大阪府準備委員会事務局設置 (財)日本水泳連盟・(財)大阪水泳協会・全国高体連 水泳専門部と事前協議を行い準備にあたる				800	98/392		
				M・リレー	200		
				400	92/368	87/348	
				合 計	2470	1664	
				総合計	4,134		

競 技 会 成 績	記 録 種 類	男子	女子	男子総合	女子総合
	学童新記録				
	中学新記録			1 湘南工大附 神奈川 95	近畿大附 大阪 67
	高校新記録	7	3	2 近畿大附 大阪 80	淑徳巣鴨 東京 44
	日本新記録			3 春日部共栄 埼玉 77	藤村女子 東京 38
	世界新記録			4 豊川 愛知 55	墨田川 東京 32
	合 計	7	3	5 金沢 石川 41	春日部共栄 埼玉 29
	総 合 計	10		6 日大豊山 東京 40	埼玉栄 埼玉 28
			7 大体大浪商 大阪 19	八王子 東京 27	
			8 九州学院 熊本 16	鹿児島実業 鹿児島 27	

プ ロ グ ラ ム 編 成	プログラム編成作業	7月28日(火)～8月3日(月)
	プログラム編成会議	8月3日(月) なみはやドーム

大 会 運 営	日々、競技終了後に主任会議を招集し、大会運営に関わる反省会を行った。確認ならびに修正事項の調整を行った結果、日増しに運営がスムーズになっていった。門真市の高校生がボランティアとして大会運営・競技運営の補助にあたった。礼儀正しく、大会参加への意欲的な言動に感心させられた。
------------------	---

競 技 運 営	参加者が増加し、競技日程が厳しくなったが、スムーズに運営され、予定とおりに進んだ。会場の「なみはやドーム」は、プールサイドも広く、運営がしやすい施設設備に恵まれた。テーピングによる違反の根絶を期して、監督者会議でも強調して周知したが、選手には伝わっていないよう素手で、失格者が2名もいた。競技役員の配置をFINA方式で行ったが、整然かつきびきびした動きで、緊張感のある競技運営がなされた。予選10コースで行ったが、決勝も高体連の意向で10コースで行った。横退水を徹底した。
------------------	--

そ の 他	テーピングによる失格 2件、リレーオーダー違反による失格 1件、リレー引継ぎ違反 5件、その他 3件
	昨年度の大会では、不謹慎な態度で表彰やインタビューに臨んだ選手がいて、周囲の響感を買ったが本年度は皆無であった。マナーの向上が見られた。